



校舎裏にて♥



美咲「ふう〜。ここなら鬼も見つけられないわね。ちよつと休憩しよっ？
も〜走ったら疲れるってのにい〜。汗だくだわっ」

むん♡

柏木

美咲(●7)

三峰

穂村(●7)

むわあ〜♡

むちっ♡

みちっ♡

穂村「はあっ、はあっ。うん、休憩しよっか！私も疲れちゃったあ。
鬼ごっこで遊ぶなんて久々だし、みんな足速くて大変だよお。」

むん♡

美咲「て、てかさあゝ、この後の授業マジだるくね？数学難しいし、あの教師私に粘着してくるんだよね〜w」
（や、ヤバ…三峰のデカチチとデカケツがこんな近くに…）

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ

はぁはぁ

はぁはぁ

きゃん

きゃん

びく

びく

穂村「だ、だめだよおゝ、そんな言い方したら！ほら、私がまた教えてあげるから！」
（っ!?♡お、おちんちん勃起してる!?す、すごっ♡ど、どんどん大きく…）

美咲「お♡お♡お♡いい、いつも勉強教えて貰って助かる♡み、三峰がいてくれて良かったあ」
「犯したい♡デカチチ犯したい♡お♡お♡お♡ほ♡ヤベツ♡チン汁あふれてっ♡お♡」

ムン♡

ムン♡

ほ♡
ほ♡
ほ♡
ほ♡
ほ♡
ほ♡
ほ♡
ほ♡

ほ♡
ほ♡
ほ♡
ほ♡
ほ♡
ほ♡
ほ♡
ほ♡

♡ず♡ず♡
♡ず♡ず♡
♡ず♡ず♡
♡ず♡ず♡
♡ず♡ず♡
♡ず♡ず♡
♡ず♡ず♡
♡ず♡ず♡

♡ど♡り♡お♡♡♡

穂村「う、うん♡そう言ってもらえると嬉しいなあ♡」
「おちんちん、すっごい匂い…♡お、犯されちゃうのかな♡犯られちゃうのかな♡」

もわぁ~~~~っ♡♡

美咲「おっほお~~~~♡♡ガチ勃起しちゃったあ~~~~♡ご、ごめん三峰え♡おっほ♡
ザー汁漏れるう♡こ、これ抜かないとおさまんないの……♡ど、どうしよおお♡」
（おっぱいに挟まって気持ちいい♡た、たまらん……♡）

穂村（でっ!!♡デツケエエエ♡♡う、馬並みっ!?♡ほ、欲しいっ!!♡マンコに欲しいっ!!♡）
「ご、ごめんねっ!!♡私のデカチチで興奮しちゃったよね!!♡ぬ、抜かなきゃだよねっ♡♡」



おわっ♡

どろろ♡

は、は、は、

お
お
お



どろろ♡



むわ♡

穂村(はあぁ~~~~っ♡や、ヤベツ♡匂いと妄想でマジイキしちゃったああ……♡)
本気汁でちやう♡本気汁ドパドバ漏れちやううう♡♡)

穂村「ちよっ!?♥美咲ちゃん!?♥外出ちやつてるよっ!?♥見えちやつてるよおっ!!♥
ハメハメしてるのばれちゃう!!♥♥」

んおっ♡おっ!!おっ!!

ホ♡ホ♡ホ♡

グチュッ!!

グッ♡
ハッ♡

美咲「いいのよっ!!♥♥わざとなのっ♥
三峰と公開交尾して皆に見せつけるのっ!!♥♥

三峰穂村は私専用の肉オナホだつて知らしめてっ!!
変な奴にとられないように、しっかりマーキングしてやるんだから!!♥」

穂村「こゝ告白うつ!!♥それって告白だよねっ!!♥私の事好きなの!!♥」
美咲「好きっ!!♥三峰のデカパイもデカケツも全部好きなのホオオオオツ♥♥♥♥!!」

木
木
♡
♡

ホッ♡

んは!!

かんぽっ!!

美咲「おっほおおおおおおお!!♡♡♡
種付けっ!!♡種付けっ!!♡イケッ!!♡イケッ!!♡
愛の籠った本気ピストンでイケエッ!!♡♡」



穂村「イクッ♡イクッ♡イクッ♡イクッ♡」
本気汁ピストンスゴッ!!♡イツクウ~~~~♡おっ♡おほお〜っ♡♡」

生徒A「はあ……ごみ捨てた……B組の三峰と相木ちゃん田中……
がガチ交尾してる……二人とも本気汁っぐ……てかこの二人デキてんだ……
仲良いのは知ってたけど……」

イッパ!!

ほげ!!
やあ!!
見られて!!

オホ!!

バチュ!!
バチュ!!

バチュ!!

バチュ!!

生徒B「おっいA……ごみ捨て終わっただろ……」
「ききやあああ田中よう田中やだも田中してるのあの子達い」

生徒C「……」
穂村「んほんほんほおおお!!♡♡♡こーびっ!!♡♡♡こーびちゅうなのほおおお!!♡♡♡」
美咲「おごおっ!!♡♡♡スツゲ♡♡♡マンコ締まるウツ♡♡♡ホッ♡♡♡ホッ♡♡♡ホッ♡♡♡」

美咲「ヤベツ!!♡♡イグツ!!♡射精するっ!!♡チンポサーメン射精するっ!!♡三峰えつ♡
中に出すようっ♡中につ♡」

カチオンでイクに見えて!!

来るよ!!
ムジイク!!

イクよ!!

イク♡
イク♡
イク♡

イク♡

穂村「出してっ!!♡♡子宮準備完了おっ!!♡♡
いつでもオーケーだよっ!!♡受精準備できてるよおっ!!♡♡」

美咲「ホッ!!♡ホッ!!♡ホッ!!♡ホッ!!♡射精ッ♡くるっ!!♡イクッ!!♡」

穂村「一緒にイこッ!!♡おんおんおん!!♡おんおんおん!!♡おんおんおん!!♡せ〜のお〜ッ♡」

ドチュ!!

ドチュ!!

ドチュ!!

ドチュ!!



美味「デツケエ子宮で全部受け止めやがれエエエエ〜ツ♡♡♡♡」



あまりの絶叫交尾ぶりに、人たかりができていた。本気交尾すぎて、風紀が乱れかねない。
「うわあ~~~~。射精量えつぐ。ーアレ妊娠どころじゃないよねw
3人くらい子供できそうw」

ズボン

びしょ

いっしょ

穂村「いぎゅううううううう!!♡♡♡♡♡おごおおお!!♡♡
美咲「射精とまんねエエエエツ!!♡孕めエエエ♡♡♡♡♡」

あまりの快楽に、もう人目など気にせず目玉をひん剥き、舌を突き出し、

必死に本気汁とザーメンをむら出し続ける♡

美咲「ホ…♡オオツ…♡んぎもぢいいい…♡キンタマの中身全部出るツ…♡おふっ♡」

穂村「おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡ひぐ♡ひゃへっ♡」

んがっ♡
おっ♡

びびる♡

びびる♡

臭♡

びびる♡
びびる♡
びびる♡

穂村「へっ♡へっ♡へっ♡しやせえっ♡こりえっ♡いつ♡
とまりゆのおっ♡も、もうイけにやい♡卵子全部でたかりやつ♡」

びびる♡

臭♡

美咲の巨根はひたすらに射精し続ける…。金玉で次々と製造される精子。

その射精の快楽地獄は5分以上続いた…。

永久かと思うほどの射精が終わる頃ー

「あんなのが入ってたの! 穂村ちゃんすっごー・痛くないのかなあ」

ビクッ♡

ビクッ♡

はひん♡

ん♡

ん♡

フー♡

ギチャ♡

「うわっ、くっさ!! めっちゃイカ臭い! やだ〜!!」
「ここまで臭ってくるわね…濃ゆすぎでしょ、あの子の…」

「ほ、穂村さん…いつも清楚なのに、こんなに乱れた姿晒して…」

「柏木さん、よつぽと穂村さんの事好きだったんだろっね♡
好きな子に種付けできて、すっごい気持ちよさそう♡」

「なっ何言ってるのよアンタ(汗)こんなところ風紀委員に見られたらヤバいって!」

もっ♡

わっ♡



























